

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	-	(H.24)No.	1124-6
-----------	---	-----------	--------

事務事業名		都市計画総務一般経費(交通戦略策定業務)	
担当部局名		担当室名	室長名
都市整備部		都市計画室	我山 博章
連絡先		63-7764	
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度	都市計画法	

事業区分 (複数選択可)	○ ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3 人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4 総合的な交通対策の推進
	施策	2 道路整備
	小施策	2 市内道路網の整備
重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	410501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	都市計画総務費	
項	都市計画費	(小事業名)	
目	都市計画総務費	都市計画総務一般経費	

3. 事務事業の概要

事業内容		効果(事業目的)
目指すべき将来都市像の実現するため策定した「総合都市交通マスタープラン」の基本方針に基づき、効果の高い施策を選択し、集中的にかつ総合的・一体的に実施するプログラムを策定し、運営方策や実施体制、継続的で客観性の高いものとするための評価や改善の仕組みを確立する。 特に道路については整備の優先順位を設定するとともに、長期未着手の都市計画道路の機能を明確化し、現道などの既存ストックの活用も視野に入れた検証を行い、評価方法や適切な見直し手順とともに、「存続、廃止、変更」を進める。		地球環境問題や人口減少・少子高齢化社会などの将来を見据えた道路網計画を再構築するとともに、公共交通ネットワークで有機的に連携する「集約型都市構造」を構築するとともに、「名張市都市マスタープラン」に掲げた、にぎわいと歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進し、環境負荷低減型の都市活動、効率的かつ効果的な都市整備の実現を目指す。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

		平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施		
				○ 業務委託(全部・一部)により実施		
				指定管理		
				補助金・交付金		
				その他 ()		
主な事業の実績・計画			交通戦略策定業務委託 ・都市計画道路の見直し検討 ・都市計画変更図書作成 ・住民説明会資料作成 ・道路整備優先順位の設定 委託料:5,000千円	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
				交通戦略策定業務委託 ・施策の検討 ・市民アンケート ・交通戦略プラン 策定委員会(5回)		
直接事業費			5,000千円	16,800千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金		1,600	5,600		
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源		(0) 0	3,400	11,200	0	0
人工数	職員		0.95人	2.00人		
	臨時職員等		0.05人			
概算人件費		(0千円) 0千円	7,020千円	14,600千円	0千円	0千円
+ 総事業費		(0千円) 0千円	12,020千円	31,400千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	公共交通など市内の交通環境に満足している市民の割合	%	-	-	-	41.0
	実績			39.4	40.3	40.9	42.2
活動指標	目標	コミュニティバス「ナッキー号」の1日平均乗降客数	人	-	-	-	194
	実績			185	187	184	180
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
名張市総合都市交通マスタープランを策定した。	名張市総合都市交通マスタープランの基本方針に基づき、都市計画道路の見直し検討など、交通戦略策定業務に取り組む。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・少子高齢化、人口減少社会を迎えており、都市においては効率的で持続可能な構造への転換が求められている。 ・国においては、交通の機能の確保、環境負荷の低減、適切な役割分担及び有機的かつ効率的な連携等による施策の推進、交通の安全確保を根幹に交通基本法案が平成23年3月に閣議決定されている。	・市民意識調査においては、高齢化、世帯構成の変化などに伴い、将来の移動手段の確保等を不安視する意見が多くある。

8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	シビルミナムを確保する観点から立案する公共交通ネットワーク計画を受けて、重複する行政サービスの見直しを検討する。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	公共交通機関や地域コミュニティ交通が担う役割とそれぞれが達成すべき目標を定め、適切な負担のあり方を検討する。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	公共交通機関や地域コミュニティ交通との協働で、計画の実現に向けた具体的施策について社会実験等により、有効性を検討する。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項

--